

亀田郷の暮らしを守る排水機場



忘れられない水害の記憶。

平成10年8月4日の豪雨により亀田郷は大きな被害をうけましたが、平成23年7月29日の豪雨では親松排水機場と鳥屋野潟排水機場などの機場が協力して稼働したことから、ほとんど被害はありませんでした。この地域の日常生活において、排水機場の役割はとても重要です。



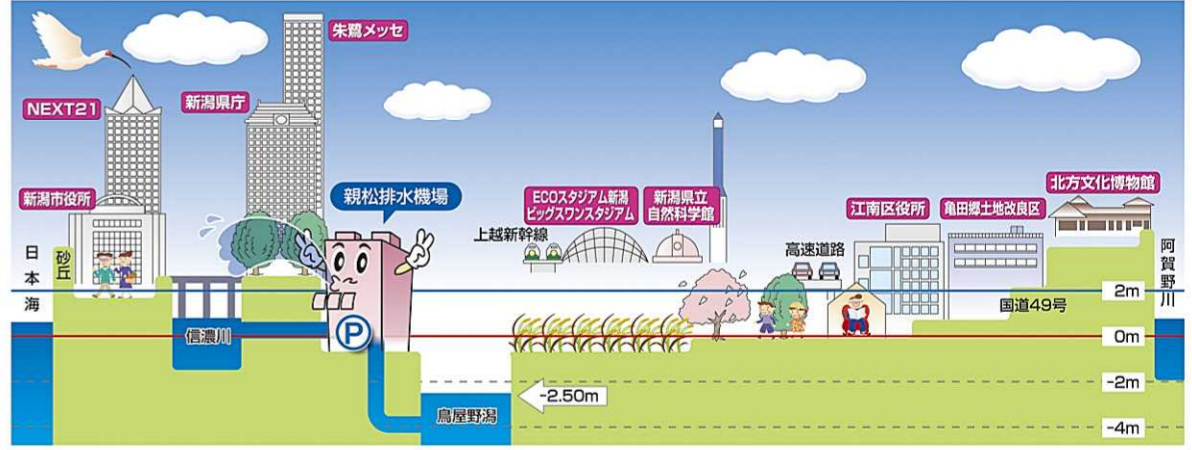
排水の仕組みと土地の形状を知ろう。

ここは、鳥屋野潟を底にした“すり鉢”状の土地！

雨水や農業排水は鳥屋野潟に流れ込みます。このような土地では、排水機場により強制的に排水する必要があります。

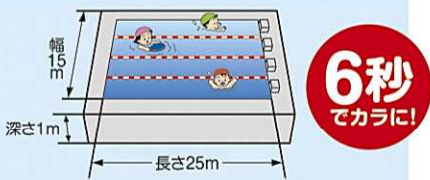
平常時の水の流れ 鳥屋野潟に集まった水を信濃川に排水します。

大雨時の水の流れ 大量の雨水が鳥屋野潟に集中しないように阿賀野川、小阿賀野川へ分散して排水します。



親松排水機場の排水能力は1秒間に約60立方メートル！

小学校の25mプールの水をわずか6秒でカラにすることができます。



鳥屋野潟に流れ込む水 (Water flowing into Ura-no-watari) ゼロメートル地帯 (Zero-meter elevation area)